

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和4年8月19日)

ページ

- 令和3年観光客入込動態調査結果について

【観光戦略課】・・・2

- 香港ブックフェア2022への出展について

【まんが王国官房】・・・7

交流人口拡大本部

令和3年観光客入込動態調査結果について

令和4年8月19日
観光戦略課

令和3年観光入込動態調査結果を取りまとめました。

観光入込客数は、実人数で6,292千人（令和2年対比+557千人、+9.7%）、延べ人数で12,352千人（+18千人、+0.1%）であり、令和2年と比較し増加となりましたが、引き続き新型コロナによる影響を受けています。（コロナ前の令和元年との比較：実人数…▲37.9%、延べ人数…▲44.7%）

県外・県内客の別では、県外客が3,054千人（▲248千人、▲7.5%）、県内客は3,238千人（+805千人、+33.1%）となりWe Love 山陰キャンペーンによる県内周遊促進の効果があつたものと考えられます。

引き続き、新型コロナの感染状況や国の動きを踏まえつつ、We Love 山陰キャンペーン・スペシャルウェルカムキャンペーンの継続実施や全国旅行支援の活用を検討していくとともに、コロナ後を見据えたサイクリングやキャンプなどの新たなスタイルの観光地づくり、長期滞在型、高付加価値化、富裕層・リピーター獲得型観光の推進など中長期的な戦略にも取り組み、今後の観光需要回復策を実施していきます。

1 令和3年観光客入込動態調査結果(抜粋)

観光入込客数(実人数)	6,292千人	(比較：令和2年比+557千人、+9.7%・令和元年比▲3,836千人、▲37.9%)
観光入込客数(延べ人数)	12,352千人	(比較：令和2年比+18千人、+0.1%・令和元年比▲9,976千人、▲44.7%)
県外客数(実人数)	3,054千人	(比較：令和2年比▲248千人、▲7.5%・令和元年比▲3,046千人、▲49.9%)
県内客数(実人数)	3,238千人	(比較：令和2年比+805千人、+33.1%・令和元年比▲790千人、▲19.6%)
宿泊者数(実人数)	1,829千人	(比較：令和2年比+101千人、+5.8%・令和元年比▲539千人、▲22.8%)
温泉地入湯客数	590千人	(比較：令和2年比▲97千人、▲14.2%・令和元年比▲464千人、▲44.1%)
外国人宿泊者数(延べ)	11,030人泊	(比較：令和2年比▲23,320人泊、▲67.9%・令和元年比▲173,570人泊、▲94.0%)

2 各詳細データと分析

(1) 県外県内別観光入込客数(実人数)

令和3年の観光入込客数(実人数)は6,292千人となり、平成10年の調査以来過去最低を記録した令和2年と比べ増加となったものの、引き続き新型コロナの影響を受け、過去2番目の低水準となった。

県外・県内客の別では、緊急事態宣言等や行動自粛の影響を受け県外客が減少し、We Love 山陰キャンペーンにより県内客は令和2年と比べ増加した。

(単位：千人、%)

区分	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
県外	3,054	48.5	3,302	57.6	▲248	▲7.5
県内	3,238	51.5	2,433	42.4	+805	+33.1
合計	6,292	100.0	5,735	100.0	+557	+9.7

(過去10年間ワースト5…R2：5,735、R3：6,292、H29：9,543、H30：9,646、H26：10,084)

(2) 県外県内別観光入込客数(延べ人数)

延べ人数についても県外客が減少し、県内客が増加となった。

(単位：千人、%)

区分	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
県外	7,819	63.3	8,782	71.2	▲963	▲11.0
県内	4,533	36.7	3,552	28.8	+981	+27.6
合計	12,352	100.0	12,334	100.0	+18	+0.1

(3) 県外・県内別入込客平均訪問観光地点数の推移

新型コロナの感染防止のため、令和2年よりも訪問地を絞って旅をする傾向が伺える。

区分	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
県外客	2.56	2.66	2.65	2.54	2.37	2.21	2.14	2.10	1.89	1.81	1.77
県内客	1.40	1.46	1.53	1.52	1.48	1.39	1.34	1.33	1.26	1.28	1.24

(4) 地域別観光入込客数（実人数）

境港周辺及び奥日野周辺エリアを除く7エリアで前年より増加となった。
 大山周辺、浦富海岸・岩井温泉周辺、八頭周辺エリアなどは密を避けて楽しめる屋外型の施設等（森の国大山フィールドアスレチック、スキー場、海水浴場など）で増加がみられた。

（単位：千人、％）

広域エリア名	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	1,870	29.7	1,708	29.8	+162	+9.5
浦富海岸・岩井温泉周辺	351	5.6	314	5.5	+37	+11.8
八頭周辺	561	8.9	497	8.7	+64	+12.9
とっとり梨の花温泉郷周辺	785	12.5	772	13.5	+13	+1.7
東伯耆周辺	480	7.6	474	8.3	+6	+1.3
米子・皆生温泉周辺	689	11.0	566	9.9	+123	+21.7
境港周辺	506	8.0	514	9.0	▲ 8	▲ 1.6
大山周辺	891	14.2	724	12.6	+167	+23.1
奥日野周辺	159	2.5	166	2.9	▲ 7	▲ 4.2
合計	6,292	100.0	5,735	100.0	+557	+9.7

(5) 発地別観光入込客数（実人数）

県外は主要なターゲットである近畿、中国地方を含め全ての地域からの観光客数が減少している。
 一方で、県内観光客は3,238千人（対前年+805千人、+33.1%）となり、We Love 山陰キャンペーンにより県内の観光需要の喚起に効果があったものと考えられる。

（単位：千人、％）

地域名	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比 (県外構成比)	人数	構成比 (県外構成比)	増減数	増減率
北海道・東北	19	0.3(0.6)	24	0.4(0.7)	▲ 5	▲ 20.8
関東	254	4.0(8.3)	281	4.9(8.5)	▲ 27	▲ 9.6
中部	153	2.4(5.0)	169	2.9(5.1)	▲ 16	▲ 9.5
近畿	1,240	19.7(40.6)	1,381	24.1(41.9)	▲ 141	▲ 10.2
中国	1,193	19.0(39.1)	1,206	21.0(36.5)	▲ 13	▲ 1.1
四国	133	2.1(4.4)	165	2.9(5.0)	▲ 32	▲ 19.4
九州・沖縄	62	1.0(2.0)	76	1.3(2.3)	▲ 14	▲ 18.4
県外計	3,054	-	3,302	-	▲248	▲7.5
県内	3,238	51.5	2,433	42.4	+805	+33.1
合計	6,292	100.0	5,735	100.0	+557	+9.7

(6) 月別観光入込客数（実人数）

新型コロナの感染拡大による都市部を中心とした緊急事態宣言等の影響により1月～2月、8月～9月は前年同月比で減少となった。5月はゴールデンウィークの繁忙期において、令和2年に休館措置をとる施設が多かったが、令和3年度は通常営業でき、増加率が大きくなった。

（単位：千人、％）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R3	359	380	522	470	565	437	554	584	529	661	740	491	6,292
R2	556	488	512	219	198	349	458	607	574	634	708	432	5,735
R1	637	502	705	886	1,096	661	848	1,588	793	819	903	690	10,128
増減数 対R2	▲197	▲108	+10	+251	+367	+88	+96	▲23	▲45	+27	+32	+59	+557
増減率 対R2	▲35.4	▲22.1	+2.0	+114.6	+185.4	+25.2	+21.0	▲3.8	▲7.8	+4.3	+4.5	+13.7	+9.7
増減数 対R1	▲278	▲122	▲183	▲416	▲531	▲224	▲294	▲1,004	▲264	▲158	▲163	▲199	▲3,836
増減率 対R1	▲43.6	▲24.3	▲26.0	▲47.0	▲48.4	▲33.9	▲34.7	▲63.2	▲33.3	▲19.3	▲18.1	▲28.8	▲37.9

(7) 月別宿泊者数（実人数）

年間合計では前年と比較し増加となったものの、新型コロナウイルスの感染拡大による都市部を中心とした緊急事態宣言等の影響により1月～2月、8月～9月は前年同月比で特に減少率が大きくなった。

（単位：千人、％）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R3	96	108	179	137	132	122	179	159	126	182	215	194	1,829
R2	171	177	151	57	37	84	145	177	145	190	223	171	1,728
増減数	▲75	▲69	+28	+80	+95	+38	+34	▲18	▲19	▲8	▲8	+23	+101
増減率	▲43.9	▲39.0	+18.5	+140.4	+256.8	+45.2	+23.4	▲10.2	▲13.1	▲4.2	▲3.6	+13.5	+5.8

※出典：「宿泊旅行統計調査」（観光庁）

(8) 利用交通機関別観光入込客数（実人数）

自家用車移動が県外客は約7割、県内客は約9割と多くを占め、県外客の自家用車利用は昨年に比べて構成比が3.5ポイント上昇している。一方で、県内・県外ともに貸切バスを使った移動の構成比が減少しており、新型コロナウイルスの感染拡大により、自家用車での移動を選ぶ傾向がますます表れていると思われる。

（単位：千人）

交通機関	令和3年				令和2年				増減数	
	県外		県内		県外		県内		県外	県内
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比		
貸切バス	99	3.2	34	1.1	144	4.4	37	1.5	▲45	▲3
路線バス	135	4.4	36	1.1	166	5.0	27	1.1	▲31	+9
列車	244	8.0	25	0.8	295	8.9	17	0.7	▲51	+8
飛行機	149	4.9	-	-	173	5.2	-	-	▲24	-
自家用車	2,199	72.0	2,981	92.1	2,263	68.5	2,259	92.8	▲64	+722
タクシー	16	0.5	2	0.1	21	0.6	1	0.0	▲5	+1
その他	212	6.9	160	4.9	240	7.3	92	3.8	▲28	+68
合計	3,054	100.0	3,238	100.0	3,302	100.0	2,433	100.0	▲248	+805

(9) 温泉地入湯客数（入湯税から算出）

令和3年は前年と比較し97千人の減となった。温泉地へのコロナの影響を見ると、令和2年は3月中旬までは影響がなかったのに対して、令和3年は1年間を通じコロナの影響も受け、入湯客について比較すると令和2年より減少した。

（単位：人、％）

温泉地名	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
鳥取温泉	52,416	8.9	48,434	7.1	+3,982	+8.2
吉岡温泉	8,805	1.5	11,619	1.7	▲2,814	▲24.2
岩井温泉	7,149	1.2	8,527	1.2	▲1,378	▲16.2
浜村温泉	7,974	1.4	9,402	1.4	▲1,428	▲15.2
鹿野温泉	7,310	1.2	9,147	1.3	▲1,837	▲20.1
はわい温泉	43,279	7.3	62,704	9.1	▲19,425	▲31.0
東郷温泉	8,768	1.5	13,112	1.9	▲4,344	▲33.1
三朝温泉	198,977	33.7	246,244	35.8	▲47,267	▲19.2
関金温泉	16,137	2.7	13,413	2.0	+2,724	+20.3
皆生温泉	238,782	40.5	264,284	38.5	▲25,502	▲9.6
合計	589,597	100.0	686,886	100.0	▲97,289	▲14.2

(10) 外国人宿泊者客数

主要な20か国全てで令和2年と比較し減少しており、インバウンド受入停止はもとより、在住外国人による国内観光も緊急事態宣言等の影響を受けたと考えられる。

（単位：人泊、％）

年度	令和3年	令和2年	増減数	対前年比(%)
人数	11,030	34,350	▲23,320	▲67.9

※観光庁宿泊旅行統計調査（確定値）外国人延べ宿泊者数（宿泊施設従業者数10人未満の施設を含む。）

(11) 国籍別外国人延べ宿泊者数(確定値)(宿泊施設従業者数10人以上の施設のみ)

(単位:人泊、%)

国籍	令和3年		令和2年		前年(令和2年)との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
香港	0	0.0	6,270	25.4	▲ 6,270	▲ 100.0
中国	310	6.4	5,440	22.1	▲ 5,130	▲ 94.3
台湾	50	1.0	3,310	13.4	▲ 3,260	▲ 98.5
ベトナム	590	12.3	2,090	8.5	▲ 1,500	▲ 71.8
アメリカ	300	6.2	780	3.2	▲ 480	▲ 61.5
韓国	50	1.0	590	2.4	▲ 540	▲ 91.5
タイ	90	1.9	530	2.2	▲ 440	▲ 83.0
イギリス	10	0.2	400	1.6	▲ 390	▲ 97.5
シンガポール	10	0.2	350	1.4	▲ 340	▲ 97.1
フィリピン	240	5.0	270	1.1	▲ 30	▲ 11.1
ドイツ	20	0.4	260	1.1	▲ 240	▲ 92.3
カナダ	10	0.2	220	0.9	▲ 210	▲ 95.5
オーストラリア	20	0.4	210	0.9	▲ 190	▲ 90.5
フランス	0	0.0	160	0.6	▲ 160	▲ 100.0
インドネシア	50	1.0	160	0.6	▲ 110	▲ 68.7
スペイン	40	0.8	140	0.6	▲ 100	▲ 71.4
マレーシア	0	0.0	120	0.5	▲ 120	▲ 100.0
ロシア	10	0.2	90	0.4	▲ 80	▲ 88.9
インド	20	0.4	80	0.3	▲ 60	▲ 75.0
イタリア	0	0.0	50	0.2	▲ 50	▲ 100.0
その他	2,980	62.0	3,080	12.5	▲ 100	▲ 3.2
不明	10	0.2	40	0.2	▲ 30	▲ 75.0
合計	4,810	100.0	24,640	100.0	▲ 19,830	▲ 80.5

(12) 日帰宿泊・費目別一人当たり観光消費額単価

観光消費額単価は県外・県内客、日帰り・宿泊の各区分とも令和2年と比較し増加した。各区分とも土産代に係る増加が大きく、プレミアムクーポンによる購入効果があったと考えられる。

(単位:円)

区分	項目	県外客			県内客		
		令和3年	令和2年	増減額	令和3年	令和2年	増減額
日帰	交通費	843	849	▲6	402	417	▲15
	飲食代	2,014	1,984	+30	1,306	1,277	+29
	土産代	5,816	5,770	+46	4,876	4,846	+30
計		8,673	8,603	+70	6,584	6,540	+44
宿泊	宿泊費	15,196	15,085	+111	14,167	14,430	▲263
	交通費	1,801	1,759	+42	800	806	▲6
	飲食代	4,284	4,093	+191	3,349	2,663	+686
	土産代	8,213	7,653	+560	6,214	4,985	+1,229
計		29,494	28,590	+904	24,530	22,884	+1,646

3 令和4年の入込客数等について

主な観光地等の直近の集計結果は以下のとおりです。今年に入ってから国民の行動制限措置は取られておらず、令和2年、3年の上半期と比較すると大きく増加しています。まだコロナ前(令和元年)の水準には戻っていませんが、第7波到来前の5月、6月は令和元年と比較し7~8割の水準まで回復している場所もあり、旅行需要の高まりが伺えます。

(1) 主な観光地の入込客数

鳥取砂丘

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R4	23,052	18,279	61,071	68,025	141,041	58,814	—	—	—	—	—	—	370,282
R3	9,291	18,608	51,202	42,767	63,075	31,702	58,127	67,074	60,576	72,841	87,019	37,976	600,258 (216,645)
R2	53,022	38,703	65,697	14,641	9,477	23,100	36,187	69,494	73,278	69,223	85,418	37,301	575,541 (204,640)
R1	44,267	49,701	84,733	105,517	165,917	67,202	78,090	159,411	110,732	99,589	106,862	92,866	1,164,887 (517,337)

※R1～3の合計欄内括弧は上半期(1～6月)の合計数(以下同じ)

青山剛昌ふるさと館

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R4	3,835	2,357	9,430	8,024	12,096	8,055	—	—	—	—	—	—	43,797
R3	1,606	2,233	7,616	4,843	7,088	3,776	8,364	12,390	5,078	8,941	10,591	6,965	79,491 (27,162)
R2	12,137	9,148	12,683	1,163	0	2,396	6,112	9,703	6,444	9,722	12,100	5,215	86,823 (37,527)
R1	8,824	7,991	16,395	22,383	30,674	11,807	20,371	46,406	15,912	14,206	12,900	11,184	219,053 (98,074)

とっとり花回廊

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R4	14,850	3,587	15,804	38,903	47,202	20,182	—	—	—	—	—	—	140,528
R3	5,516	6,404	21,078	28,258	30,134	13,246	7,525	8,396	14,480	24,855	37,359	33,795	231,046 (104,636)
R2	18,169	5,091	16,378	5,873	8,609	18,089	11,013	9,691	14,756	24,307	30,145	28,127	190,248 (72,209)
R1	16,675	7,235	19,455	52,093	70,374	24,938	12,847	19,240	14,748	23,651	35,977	38,356	335,589 (190,770)

(2) 主な温泉地の宿泊者数

三朝温泉(宿泊者数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R4	14,439	8,868	17,133	14,137	19,097	18,322	—	—	—	—	—	—	91,996
R3	6,056	6,492	19,301	14,263	11,828	10,180	13,737	13,783	10,449	17,779	25,871	24,625	174,364 (68,120)
R2	22,128	21,389	18,586	4,031	11	6,045	14,409	18,579	18,381	25,067	32,160	23,748	204,534 (72,190)
R1	23,705	20,804	29,504	22,439	26,001	21,889	20,524	29,388	22,486	25,901	31,640	26,877	301,158 (144,342)

はわい温泉(宿泊者数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R4	3,938	1,473	4,630	3,571	7,690	5,785	—	—	—	—	—	—	27,087
R3	1,820	1,016	5,777	2,481	2,814	1,635	4,796	3,960	1,192	7,084	10,394	8,210	51,179 (15,543)
R2	7,517	7,045	6,012	793	15	233	3,580	6,770	6,804	10,044	12,723	8,805	70,341 (21,615)
R1	5,583	4,183	6,083	9,326	10,880	9,761	9,824	13,918	9,623	10,172	12,551	9,893	111,797 (45,816)

皆生温泉(入湯客数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R4	13,986	8,251	19,893	19,261	24,665	20,881	—	—	—	—	—	—	106,937
R3	8,438	8,485	24,293	14,309	14,220	10,119	19,580	21,452	13,381	24,604	32,558	28,633	220,072 (79,864)
R2	27,003	25,747	24,322	5,867	1,804	5,109	18,687	27,193	23,060	32,804	42,597	30,091	264,284 (89,852)
R1	25,741	25,590	35,126	31,702	34,608	28,021	31,109	44,286	31,074	37,779	46,117	32,932	404,085 (180,788)

香港ブックフェア2022への出展について

令和4年8月19日
まんが王国官房

新型コロナウイルス感染収束後のインバウンド促進を図るため、香港貿易発展局が主催する香港最大規模の展示会「香港ブックフェア」に出展し、海外でも人気の高い「まんが王国とっとり」をPRしました。

- 1 開催期間 令和4年7月20日（水）～26日（火）（7日間）
- 2 開催場所 香港コンベンション&エキシビションセンター ジャパンパビリオン
- 3 来場者数 85万人（令和3年度実績：83万人）
- 4 出展内容

（1）ブース展開（20日～26日）

- ・まんが王国とっとりの見どころを、ひときわ目を引くデザインのパネルによって紹介した。
- ・「まんが王国とっとり漫喫ガイド」やまんが関連施設（水木しげる記念館、青山剛昌ふるさと館等）のパンフレットを配架した。
- ・TVモニターを設置し、PR動画を放映した。
- ・ブースへの立ち寄り客からは「鬼太郎、コナンが大好き」「ゆかりのまんが施設に行ってみたい」という声が多数聞かれた。



バックパネル掲示、パンフレット配架



にぎわう鳥取県の出展

（2）メディアタイアップによる情報発信

- ・香港のWebサイト及びFacebookと連携してPR記事を掲載した。
- ・日本に興味がある香港の方向けのメルマガシステムにて、記事の紹介、鳥取県ブースの紹介をした。

5 その他

- ・ジャパンパビリオンには、本県以外に9の自治体（兵庫県、福岡県など香港に拠点がある自治体）、(株)KADOKAWAなどの民間企業、日本政府観光局（JNTO）などの団体がブース出展し、官民一体となって日本への観光誘客促進に取り組んだ。
- ・今回は中国地域観光推進協議会からも出展し、5県の情報発信を実施した。